

第22回 たじみ子ども会議

10年前の理想からどうなった？

そして、どう変わりたい…？

～考えよう。つくろう

子どもの居場所へ

意見書



令和2(2020)年 3月

たじみ子ども会議☆子どもスタッフ

もくじ

・はじめに

・意見

・うれしい言葉

・自分たちにできる事

・子どもからのメッセージ

・まとめ

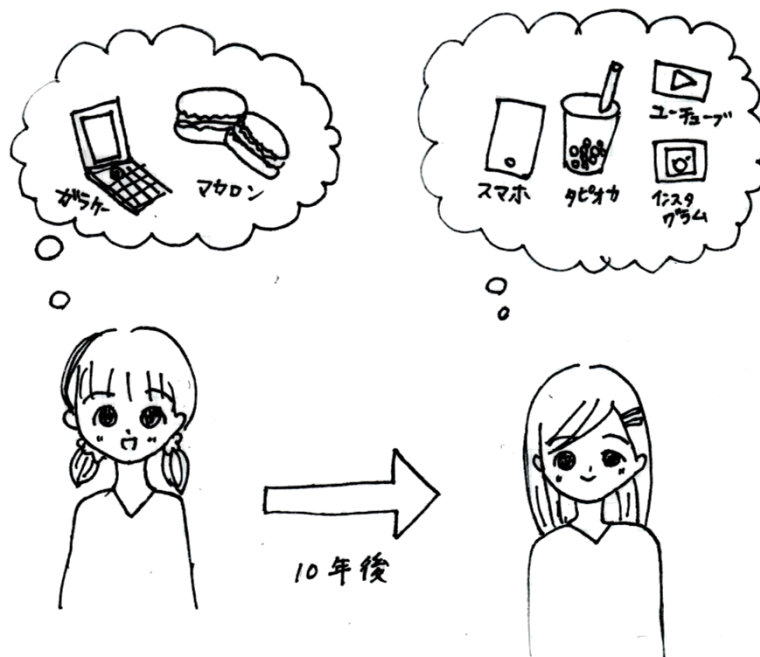
・たじみ子ども会議子どもスタッフ名簿

はじめに

今回のテーマは、『10年前の理想から
どうなった？そしてどう変わりたい？
考えよう・つくろう子どもの居場所』
です。

10年前よりもスマートフォンやパソコン
など私たち子どもの身近なものとな
り、SNSで知り会った、直接会
ったこともない人に相談し、事件に
巻き込まれることも起きています。
そこで、対話することの大切さを再認識す
るためにこのテーマにしました。

意見が多治見市の町づくりに生かされ
ることを願います。



意見

1. 言われて嬉しかった言葉を多くの人に知ってもらい、言葉がけしてもらえるように、情報発信してください。

うれしい言葉



	家 庭	学 校
気分の 良い時	感謝 「ありがとう」 ほめる・認める 「よくやってくれてるね」 「がんばってるね」 「すごいじゃん」 「上手にできたね」 その他 「おつかれさま」 「何食べたい？」	感謝（友達＆先生） 「ありがとう」 「助かりました（助かったよ）」 「心の支えになったよ」 ほめる・認める （先生＆友達） 「すごいね」「さすが○○」 「よくやった」 「がんばってますね」 その他 「一緒に遊ぼう」 「一緒にいると楽しい」
落ちこんで いる時	応援 「がんばれ」「大丈夫だよ」 「○○なら出来るよ」 気づかい 「大丈夫？」「何かあった？」 「無理なくていいからね」 行動 そっとしておく アドバイスをする	気づかい 「相談のううか？」 「悩んでることある？」 「どうしたの？」「大丈夫？」 励ます・認める 「きっと大丈夫だよ」 「よくがんばったね」 「応援してるよ」 その他 「今度は私（僕）が助けるよ」

< 自分達にできる事 >

家庭内

- 。気持ちの良い言葉使いをする。
- 。やさしく話す。
- 。自分の今の気分を伝える。
- 。当たり前的事にも感謝する。
- 。どうしてもダメな時は、その場を去り、悪い雰囲気をつくす。
- 。7.5 往復以上の会話をする。

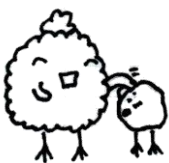
学校内

- 。自分が言われて嬉しい事を友達にも言う。
- 。相手の気持ちを考えて発言する。
- 。「一緒に○○しよう!」と声をかける。
- 。話しを聞いたり、励ましたりする。
- 。忙しそうだったら手伝う。
- 。「どうしたの?」と心配する。

< 子供からのメッセージ >

- 。やさしくして
- 。少しの事で声をかけて
- 。機嫌が悪い時はそとにしておいて...
- 。目線を合わせて
- 。否定はしないで
- 。「そんな事?」と思わないで
- 。私達の言い分を聞いて
- !。考えている事を認め、アドバイスを
- !して
- !。ちゃんと見ていて
- !。せがさないで
- !。細かい事に口出ししないで
- !。もっとほめて♡
- !。他の人と比較しないで
- !

☆ 声をかけてほしい時、そうでない時があるから、子供に合わせて考えてほしい。



まとめ

- 分か、てもらうためには、素直な気持ちを伝える！
- 思いやりをもっ、て、相手のことを考えながら接する！
- 周りのことをよく見て、積極的に声をかけていく！



たじみ子ども会議子どもスタッフ



令和2（2020）年3月現在

【子どもスタッフ】

飯村 尚真（高3年）
宮本 梨央（中3年）
亀山 愛華（中3年）
菅 汐里（高1年）
菅 汐夏（中2年）
大矢 陽菜（中3年）
戸本 和馬（高1年）
川西 奏颯（中3年）
佐藤 滯（高1年）
川西 音愛（高2年）
佐藤 かなみ（小6年）
糸川 玄（中1年）
小嶋 華音（中1年）

阿彦 来武（小6年）
坂田 侑志朗（小6年）
古川 菜々実（中1年）
白頭 佑悟（小6年）
日比野 心春（小6年）
大嶋 沙奈（中1年）
今村 心琴（中1年）
今村 文乃（小5年）
今井 智也（中3年）
松下 奈津希（中3年）
西田 光幸（中2年）
大嶋 琉加（小4年）
小栗 知華（小5年）
鈴木 豪利（小5年）